

3. 平成29年度事業報告

| 事業名 | 実施事業の概要 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|------|--------|-------|------|--|-------|------|---|------|------|---|---------|-------|--------------------|
| <p>1 地域の国際交流と多文化共生推進事業</p> <p>(1) 地域の国際交流推進</p> | <p>ア 多言語情報発信</p> <p>① ホームページの運営</p> <p>財団の情報を迅速に提供するとともに、地域における国際交流の情報交換や、在住の外国出身者が生活していく上で必要な生活情報の提供等を行うホームページ（日本語・英語・中国語版）を運営。</p> <p>月平均 訪問数 1,946 ← 前年度比 △12%</p> <p>財団ホームページアドレス http://www.torisakyu.or.jp/</p> <p>② 多言語メールマガジンの配信</p> <p>国際交流イベントなどの情報を速報性をもって読者に提供するためのメールマガジンを配信した。(TIM：220号～232号 計13号を配信)</p> <p>外国語版（英語・中国語・タガログ語）については携帯電話向けメールマガジンとして配信した。(TORIMO：165号～188号 計24号を配信) うち、日頃から防災に備える意識づけや社会生活を送るうえでの重要な情報を「くらし安心・防災 TORIMO」として12号配信。</p> <p><配信登録者数 H30.3月.末現在></p> <ul style="list-style-type: none"> ・TIM（PC向け日本語版）登録者数 530名 ・TORIMO（携帯電話向け外国語版）登録者数 英語版 1,132名、中国語版 406名、タガログ語版 907名 計2,445名 <p>③ 機関紙の発行</p> <p>財団の活動状況や、地域の国際交流事業等の情報を提供する機関紙「とっとり国際通信」第122～125号を発行（A4・一部カラー刷り 一部記事については英語・中国語表記 各2,000部）。</p> <p>イ ボランティア活動の推進と活性化</p> <p>① ボランティア登録制度の運営</p> <p>通訳、翻訳、日本語教育、交流活動、ホームステイ、ホームビジット、ホストファミリーのボランティア登録制度を運営し、公的機関や民間団体等の要請に応じて活動の場を紹介することで、県民のボランティア活動を推進した。</p> <table border="1" data-bbox="564 1485 1345 2078"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>登録者数</th> <th>主な活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通訳・翻訳</td> <td>241名</td> <td>・智頭町韓国楊口郡青少年交流事業 ・鳥取看護大学グローバルセンター ・県江原道障がい福祉関係者受入事業歓迎会 ・とっとり市民大学国際理解講座 ・三朝中学校での台湾との交流事業 ・米子空港利用者アンケート調査、企業商談会 ・財団主催事業（バーモント青少年交流事業、ジャマイカを知る会、フェスティバル、子どものための異文化理解体験講座など）ほか</td> </tr> <tr> <td>日本語教育</td> <td>472名</td> <td>・日本語クラスパートナー、プライベートレッスンボランティアほか ・外国人児童・生徒への日本語支援については(2)ア ③日本語クラス等の運営に別掲</td> </tr> <tr> <td>交流活動</td> <td>388名</td> <td>・公民館、学校等地域の国際交流事業講師（国際理解講座、料理教室の講師、海外向け鳥取県PR動画英語ナレーションほか） ・財団主催事業（フェスティバル、バーモント州との青少年交流事業ほか）</td> </tr> <tr> <td>ホームステイ等</td> <td>140家庭</td> <td>②ホームステイ活性化プログラムに別掲</td> </tr> </tbody> </table> | 区分 | 登録者数 | 主な活動内容 | 通訳・翻訳 | 241名 | ・智頭町韓国楊口郡青少年交流事業 ・鳥取看護大学グローバルセンター ・県江原道障がい福祉関係者受入事業歓迎会 ・とっとり市民大学国際理解講座 ・三朝中学校での台湾との交流事業 ・米子空港利用者アンケート調査、企業商談会 ・財団主催事業（バーモント青少年交流事業、ジャマイカを知る会、フェスティバル、子どものための異文化理解体験講座など）ほか | 日本語教育 | 472名 | ・日本語クラスパートナー、プライベートレッスンボランティアほか ・外国人児童・生徒への日本語支援については(2)ア ③日本語クラス等の運営に別掲 | 交流活動 | 388名 | ・公民館、学校等地域の国際交流事業講師（国際理解講座、料理教室の講師、海外向け鳥取県PR動画英語ナレーションほか） ・財団主催事業（フェスティバル、バーモント州との青少年交流事業ほか） | ホームステイ等 | 140家庭 | ②ホームステイ活性化プログラムに別掲 |
| 区分 | 登録者数 | 主な活動内容 | | | | | | | | | | | | | | |
| 通訳・翻訳 | 241名 | ・智頭町韓国楊口郡青少年交流事業 ・鳥取看護大学グローバルセンター ・県江原道障がい福祉関係者受入事業歓迎会 ・とっとり市民大学国際理解講座 ・三朝中学校での台湾との交流事業 ・米子空港利用者アンケート調査、企業商談会 ・財団主催事業（バーモント青少年交流事業、ジャマイカを知る会、フェスティバル、子どものための異文化理解体験講座など）ほか | | | | | | | | | | | | | | |
| 日本語教育 | 472名 | ・日本語クラスパートナー、プライベートレッスンボランティアほか ・外国人児童・生徒への日本語支援については(2)ア ③日本語クラス等の運営に別掲 | | | | | | | | | | | | | | |
| 交流活動 | 388名 | ・公民館、学校等地域の国際交流事業講師（国際理解講座、料理教室の講師、海外向け鳥取県PR動画英語ナレーションほか） ・財団主催事業（フェスティバル、バーモント州との青少年交流事業ほか） | | | | | | | | | | | | | | |
| ホームステイ等 | 140家庭 | ②ホームステイ活性化プログラムに別掲 | | | | | | | | | | | | | | |

② ホームステイ活性化プログラムの実施

財団主催事業及び民間団体等が実施するホームステイ受入事業との連携（7件・36家庭）、また長期滞在中の外国出身者の希望に応じてホームステイ（14家庭）を通じた地域における国際理解の一層の促進を図った。

- ・鳥取大学「グローバル化社会における多文化共生のための協働力育成プログラム」
- ・公立鳥取環境大学「ユニテック工科大学学生交流プログラム」
- ・鳥取県西部地区日韓親善協会「鳥取県・江原道青少年ホームステイ交流」
- ・とっとり青友会「平成29年度国際青年育成交流事業」
- ・鳥取県交流推進課「香港青年海外派遣事業（香港政府実施）」
- ・鳥取県交流推進課「ロシア極東地域鳥取県サポーター育成事業」
- ・財団「米国バーモント州青少年交流促進事業」

③ 通訳ボランティアスキルアップ講座の実施（新規）

平成30年～33年にかけて開催される大規模スポーツ大会やキャンプに多くの外国人選手・関係者の来県が予定される中、本県として万全のおもてなしができる受入態勢の構築に向けて、スポーツ文化教養・各競技の専門用語・スポーツ選手への対応心得などを習得していただき、大会やキャンプにおける各場面での通訳リーダーとなる人材の育成を目的とする講座を、県スポーツ課からの委託を受けて実施。講座を修了した63名を国際スポーツ大会ボランティアとして登録。

<実施概要>

(1) 中部会場（全3回 会場 伯耆しあわせの郷会議室）

第1回：平成29年11月25日（土）10:00～17:00

| 内 容 | 講 師 |
|--|---|
| 鳥取県内で開催される大規模スポーツ大会の概要 | 鳥取県スポーツ課 |
| 通訳としての心構え・マナー 国際スポーツ大会と通訳ボランティアの役割 英語によるロールプレイ | 畝崎 雅子氏（ひろしま通訳・ガイド協会理事） ロールプレイ協力者：ハリス クリストファー ジェームスさん |

第2回：平成29年12月3日（日）10:00～17:00

| 内 容 | 講 師 |
|---|---|
| スポーツクライミング競技の基礎知識 | 安井 博志氏（(公財)日本オリンピック委員会スポーツクライミングナショナルコーチ） |
| 外国文化への理解（異文化コミュニケーション）①② 英語によるロールプレイ | 岩佐 ヴィヴィアン氏 ロールプレイ協力者：末石 ロドニーさん、ディアダフ ミンディさん、ディアダフ ピーターさん |
| 卓球競技の基礎知識 | 依藤 典篤 氏（鳥取県卓球連盟会長） |

第3回：平成29年12月23日（土・祝）10:00～17:00

| 内 容 | 講 師 |
|--|---|
| 外国語で学ぶ日本文化 鳥取県の魅力を伝えるおもてなし 英語によるロールプレイ | 澤田 晶子氏（フリーランス翻訳・通訳） ロールプレイ協力者：デディ ウィラヤディさん、デュンサー エルマーさん、マリナ ビロゴヴァさん、ピネダ ペラスコ イバンさん |

(2) 東部会場 (全3回 会場 高齢者福祉センター会議室)

第1回：平成30年1月7日(日) 10:00～17:00

| 内 容 | 講 師 |
|---------------------------------------|--|
| 鳥取県内で開催される大規模スポーツ大会の概要 | 鳥取県スポーツ課 |
| 通訳としての心構え・マナー 国際スポーツ大会と通訳ボランティアの役割 | 畝崎 雅子氏 (ひろしま通訳・ガイド協会理事) |
| スポーツクライミング競技の基礎知識 | 安井 博志氏 ((公財) 日本オリンピック委員会スポーツクライミングナショナルコーチ) |
| 英語によるロールプレイ | 畝崎 雅子氏 (ひろしま通訳・ガイド協会理事) ロールプレイ協力者：田中 アウリアさん |

第2回：平成30年1月21日(日) 10:00～17:00

| 内 容 | 講 師 |
|---|---|
| 外国文化への理解 (異文化コミュニケーション) 英語によるロールプレイ① | 岩佐 ヴィヴィアン氏 ロールプレイ協力者：葛蓓莉さん、高取 ジョセリンさん、呉丹鳳さん フィリップ キランガさん、オスティナ ワイブシさん |
| 卓球競技の基礎知識 | 依藤 典篤 氏 (鳥取県卓球連盟会長) |
| 英語によるロールプレイ② | 岩佐 ヴィヴィアン氏 ロールプレイ協力者：葛蓓莉さん、高取 ジョセリンさん、呉丹鳳さん フィリップ キランガさん、オスティナ ワイブシさん |

第3回：平成30年1月28日(日) 10:00～17:00

| 内 容 | 講 師 |
|--|--|
| 外国語で学ぶ日本文化 鳥取県の魅力を伝えるおもてなし 英語によるロールプレイ | 澤田 晶子氏 (フリーランス翻訳・通訳) ロールプレイ協力者：葛蓓莉さん、高取 ジョセリンさん、フィリップ キランガさん、オスティナ ワイブシさん |

④ 団体等との連携

i) 連絡調整

県内に拠点を置く民間国際交流・協力関係者及び市町村担当者と、地域の国際交流の活性化のために連携して活動していくため、鳥取県との共催による意見交換のための連絡会議を行うとともに、鳥取大学・鳥取市国際交流プラザと連携して来日間もない留学生を対象にしたオリエンテーションを実施。また、先進的な取り組みを学び財団の事業に反映させていくため、地域国際化協会連絡協議会等における研修や意見交換の場に参加。

<国際交流・協力団体連絡会議の開催>

民間団体同士、また市町村との協力関係の構築に有益な機会となった。今年度は、多文化共生ネットワーク会議の活動とつなげていくため、同会議の各地域委員の代表が取り組みについてのスピーチを行った。

【東部地区】日 時：平成29年6月28日(水) 14:00～16:00

場 所：鳥取市福祉文化会館2階会議室

参加団体：17団体 県及び1市1町(24名)

「多文化共生社会推進の取り組みについて」

多文化共生ネットワーク会議委員(東部地域) 川口 斐斐氏

【中部地区】日 時：平成29年6月9日(金) 14:00～16:00

場 所：中部総合事務所1号館B棟202会議室

参加団体：13団体 県及び1市4町（24名）

「多文化共生社会推進の取り組みについて」

多文化共生ネットワーク会議委員（中部地域）アベ山田マリイ氏

【西部地区】日 時：平成29年6月29日（木）14:00～16:00

場 所：米子コンベンションセンター第2会議室

参加団体：15団体 県及び2市3町（30名）

「多文化共生社会推進の取り組みについて」

多文化共生ネットワーク会議（西部地域）徐 萍氏

<留学生オリエンテーション>

第1回（4月入学期）平成29年4月8日（土）参加留学生36名

第2回（10月入学期）平成29年10月7日（土）参加留学生56名

<鳥取県留学生交流推進会議>

日時：平成30年2月22日（水）14:00～15:00

場所：鳥取大学広報センター

内容：

・県内外国人留学生の受入状況報告と留学生地域交流事業について協議

<地域国際化協会連絡協議会との連携>

*総会・交流会

日時：平成29年5月24日（水）

場所：東京都（全国都市会館・都市センターホテル）

*中国・四国ブロック会議

中国・四国地方の地域国際化協会、（一財）自治体国際化協会が一堂に会し、それぞれが抱える共通の課題等について意見交換を行うとともに、地域ブロック交付金を活用した研修会を実施。なお、ブロック会議ののち、11月9日にブロック内での大規模災害発生を想定した「防災対策支援シミュレーション」を昨年度に続き実施。当財団は想定被災地協会の役割で、熊本地震で活用された Dropbox を用いた多言語翻訳支援のシミュレーションを実施。

日時：平成29年10月27日（金）13:30～20:00

場所：高松市

内容：

- ・各団体から提出された14議題の取り組み状況について報告及び意見交換
- ・研修会「外国にルーツをもつ子どもの支援について」

（講師：佐賀県日本語学習支援「カスタネット for キッズ」代表 早瀬郁子氏）

ii) 地域連携等

昨年度に引き続き、中学生の職場体験活動（2校）への協力及び湯梨浜町発祥のグラウンド・ゴルフを通じて地域レベルの国際交流の推進と、ワールドマスターズゲーム誘致に向けて世界に生涯スポーツとしての魅力を発信することを目的とした「グラウンド・ゴルフ国際交流大会 YURIHAMA2017」の実施にあたり、翻訳や通訳のコーディネーター等大会運営に協力。

また、市町教育委員会事務局及び小中学校と連携し、外国にルーツを持つ児童生徒の日本語支援を実施したほか、県教育委員会の「学校生活ガイドブック（小・中学校編）」改訂作業にあたり、県内人材による翻訳調整等作成に協力。

○ 地域貢献

<中学生の職場体験活動・ワクワク湖東>

受入生徒：鳥取市湖東中学校2年生4名

受入期間：平成29年6月20日、22日（各日2名ずつ）

<中学生の職場体験活動・わくわく高草>

受入生徒：鳥取市高草中学校2年生4名

受入期間：平成29年6月26日、27日（各日2名ずつ）

<グラウンド・ゴルフ国際交流大会 YURIHAMA2017>

日時：平成29年10月20日（金）～21日（土）

場所：湯梨浜町潮風の丘とまり

内容：韓国語・中国語・台湾語・モンゴル語の翻訳及び通訳（9名）

<外国にルーツをもつ児童生徒の日本語支援>

要請のあった小・中・高等学校（東部：14校18名、中部：1校1名、西部：2校2名）に日本語支援員や教材をコーディネートした。

<学校生活ガイドブック（小・中学校編）の改訂>

中国語（簡体字・繁体字）・韓国朝鮮語・ロシア語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語・フィリピン（タガログ）語の8言語について、県内人材による翻訳調整等4年ぶりの改訂版作成に協力。

ウ 県民の国際理解推進

① ワールドアラカルトの実施

鳥取空港「空の日」のイベントにあわせて、幅広く来場される県民に対して財団ならではの国際色豊かな催しと文化体験の場を提供。

日時：平成29年9月24日（日） フェスティバル来場者数2,500人

内容：缶バッジづくりワークショップ、民族衣装の試着と撮影

② 子どものための異文化理解体験講座の実施

小学生を対象に、多言語による歌やダンス、遊びやゲームの体験などさまざまな国の文化に触れる機会を提供することを目的に実施。出張型は、県内すべての小学校から募集を受け付け、予定数（24校）を超える31校すべての要請に応じ派遣。

出張型（学校派遣）・9～12月にかけて順次開催

<東部>津ノ井小学校、醇風小学校、岩倉小学校、美和小学校、城北小学校、若葉台小学校、美保小学校、郡家西小学校、岩美西小学校、岩美南小学校、若桜学園小学校 計11校

<中部>上北条小学校、西郷小学校、小鴨小学校、上灘小学校、三朝西小学校、大栄小学校、浦安小学校、赤碕小学校、船上小学校 計9校

<西部>福米東小学校、大篠津小学校、福生東小学校、伯仙小学校、河崎小学校、上道小学校、八郷小学校、会見第二小学校、日吉津小学校、黒坂小学校、江府小学校 計11校

③ 国際交流フェスティバルの実施

広く県民と在住外国人との協働による異文化理解を促進するため、現在県内三地区で開催されている民間団体主催の国際交流フェスティバルを共催で実施。

<東部> 第29回タイムフェスティバル

平成29年11月19日（日）11:00～15:30 とりぎん文化会館

来場者数 約1,400人

<中部> くらよし国際交流フェスティバル2017

平成29年11月26日（日）11:00～15:00 伯耆しあわせの郷

来場者数 約800人

※<西部>よなご国際交流フェスティバル2017は、平成29年9月17日（日）
米子市文化ホールで開催の予定であったが、台風18号の影響により中止

④ 「話してみよう韓国語」鳥取大会の運営

鳥取県からの委託を受けて、鳥取県とつながりの深い韓国の文化を理解するために効果的な韓国語学習の支援と普及を目的として、成果を発表する場として鳥取大会を運営。

日時：平成29年12月16日（土）13:00～17:40

場所：米子市コンベンションセンター 小ホール

主催：韓国文化院、鳥取県

出場者：中高生スキット部門 10組20名（うち1組は当日体調不良のため欠場。応募数15組）、指定スキット部門 5組10名（応募数6組）、スピーチ部門 6名（応募数7名）

内容：各部門の発表、文化公演（「FKDC（大阪府立福井高等学校ダンス部）」によるK-POPカバーダンス）、表彰、交流会

来場者数：約160人

⑤ 多文化共生出前講座の実施

公的機関や民間団体などが主体となって実施される研修会等に、要請に応じて講師を派遣し、多文化共生社会の実現に向けて広く県民の意識啓発を図る出前講座を実施。

| | 日 時 | 会議名（場所） | 内容及び講師名 |
|---|-----------------------------|--------------|--|
| ① | 平成29年6月9日 （金）10:30～12:00 | 県立倉吉総合看護専門学校 | 「鳥取県で暮らす外国人の現状と支援について考える」 アベ山田マリアル氏（財団理事） |

⑥ 米国バーモント州との青少年交流促進事業の実施

国際的視野をもった青少年の育成を図るとともに、鳥取県と米国バーモント州とのさらなる相互交流を促進するため、同州の高校生を県内に受け入れ、鳥取県の自然・歴史・文化などの体験プログラム、ホームステイ、鳥取東高・鳥取湖陵高への訪問等を通じた交流事業を展開した。また、県内の高校生をバーモント州に派遣。派遣中は、ホームステイを通じて生きた英語に触れながら文化や生活習慣を学び、高校体験、州政府訪問のほか野外調査など環境に関する学習などを深めた。

<受入事業>

- 受入期間 平成29年4月23日（日）～5月1日（月）
- 受入人数 13名（生徒9名、引率4名）

<派遣事業>

- 派遣人数 15名（応募者総数37名）及び引率5名
鳥取西高1、鳥取東高2、八頭高1、倉吉東高2、米子東高1、米子西高1、米子高1、鳥取城北高1、青翔開智高2、米子北斗高1、米子松蔭高2
（男子1、女子14）
- 派遣期間 平成29年10月27日（金）～11月7日（火）

⑦ 多文化共生ネットワーク推進事業（一般財団法人自治体国際化協会「多文化共生のまちづくり促進事業助成事業」）

平成28年度より、外国人コミュニティや社会活動に積極的に参画している在住外国出身者を主たるメンバーとする「多文化共生ネットワーク会議」を県内三地域で組織し、定期的に意見を交換するとともに、必要な取り組みを企画し、協働で実施していくことに取り組んでいくことで、外国人住民目線で「必要なこと」を実現していくこととしている。29年度は、ネットワーク会議と協働事業の継続とあわせて、その会議の代表者と行政等の関係機関の実務者も加わった「多文化共生推進会議」を開催し、情報の共有と効果的な施策推進のエンジンとしていくこととした。

<多文化共生ネットワーク会議>

《会議開催》

東部地域会議：第1回 平成29年8月4日（金）、第2回 10月4日（水）
中部地域会議：第1回 平成29年7月22日（土）、第2回 9月9日（土）
西部地域会議：第1回 平成29年8月12日（土）、第2回 10月1日（日）
全体会議：平成30年1月27日（土）

《企画協働事業》

- 伯耆しあわせの郷まつり（倉吉市）への出展

平成29年10月22日（日）10:00～15:00

中部地域会議委員の協力を得て、多文化共生ネットワーク会議のブースを設け、世界の国旗クイズや遊び体験、いろいろな国の言葉でおしゃべりしようなど来場者楽しく世界の文化に触れていただくことができた。

- 全県交流事業「みんなで交流 in くらよし part2」

平成29年12月10日（日）10:30～15:00 於 伯耆しあわせの郷

外国出身者が全県から集まり、日本人協力者と共に学び交流することでネットワークを拓げる機会とした。

（内容）セミナー(1) 教育（小学校、中等高等学校のグループに分かれて）

セミナー(2) 生活マナー（冠婚葬祭など）

セミナー(3) 食文化（和食づくり）

交流会

（参加者数）110名

<多文化共生ネットワーク推進会議>

日時：平成30年1月26日（金） 13:30～15:30

場所：鳥取県立図書館「小研修室」

内容：29年度の新たな取り組みとして、県内の多文化共生に関わる行政機関等の関係者（四市・県・国の機関）と多文化共生ネットワーク会議の代表者が出席し「多文化共生ネットワーク推進会議」を開催し、意見交換を行った。市の担当者からは、困りごとについて相談にさえ来てもらえたら何とか対応を考えることができるが、そこにたどり着けない人をどうしていくか、そこに関係機関が知恵を出し合いながら連携して取り組んでいきたいという意見があり他の出席者からも共感を得た。ネットワーク会議委員の代表からはコミュニケーション支援、とりわけ医療と教育の分野での必要性について対応を求める声が多くあり、問診票の多言語化など既存の資料の活用も図りながら、必要な情報が必要な人に届きやすい体制づくりを協力しながら進めていこうという意見で一致した。

⑧ ジャマイカ交流紹介推進業務の実施（新規）

- (1) 国際交流イベントにおけるジャマイカ交流紹介PR

<実施概要>

第29回タイムフェスティバル

日 時：平成29年11月19日（日）11:00～15:30

場 所：とりぎん文化会館

協 力 者：鳥取県立鳥取工業高等学校ALT アンドレ ブラフさん

鳥取市立西中学校ALT エンジェレス ジャームズさん

鳥取県立米子高等学校ALT ラニーク トーマスさん

鳥取県自治体職員協力交流研修員 ジョディアン ムンローさん

内 容

- ・ジャマイカ交流紹介ブース（ワークショップ：ジャマイカのものづくり体験として毛糸やビーズを使ったプレスレットやヘアバンドの製作）及びジャマイカチーム仕様下町ボブスレー展示・試乗体験コーナーの設置。
- ・パフォーマンス（12:50～13:00 小ホールステージでのダンス）。

よなご国際交流フェスティバル2017

平成29年9月17日（日）米子市文化ホールで交流紹介ブース出展と「ジャマイカミニコンサート」を開催する予定で準備や事前周知を進めていたところであったが、当日、非常に強い勢力の台風18号が最も鳥取県に接近するとの警報が発令されたことにより、実行委員会、米子市、財団とで協議の結果、来場者及び関係者の安全を考慮し、やむなく9月15日（金）に中止の判断をした。

米子市と協力して中止の広報を行うとともに、混乱のないよう当日はスタッフが会場に常駐し説明にあたった。アーティストの招へいについては、同条件で11月26日（日）くらし国際交流フェスティバルで開催する変更契約を行った。

くらし国際交流フェスティバル2017

日 時：平成29年11月26日（日）11:00～15:00

場 所：伯耆しあわせの郷

協 力 者：鳥取県立鳥取工業高等学校ALT アンドレ ブラフさん
鳥取市立西中学校ALT エンジェレス ジャームズさん
鳥取県立米子高等学校ALT ラニック トーマスさん

内 容

- ・ジャマイカ交流紹介ブースを設置し、ワークショップ（ジャマイカのものづくり体験として毛糸やビーズを使ったプレスレットやヘアバンドの製作）や、ジャマイカ〇×クイズ、ジャマイカコーヒーのふるまいなどを実施。
- ・ジャマイカ・ミニコンサートの実施

日 時：平成29年11月26日（日）12:30～13:00

場 所：伯耆しあわせの郷1階 ステージイベントコーナー

出 演 者：モニーク ディヘイニーさん

協 力 者：鳥取県立鳥取工業高等学校ALT アンドレ ブラフさん
鳥取市立西中学校ALT エンジェレス ジャームズさん
鳥取県立米子高等学校ALT ラニック トーマスさん

セットリスト I will survive～Hot staff～Sukiyaki（上を向いて歩こう）～One love
～Jamaican in New York

(2) ジャマイカを知る会（料理教室とワークショップ等）

日 時：平成29年10月29日（日）

10:00～12:00 「食」からジャマイカを知ろう！

ジャマイカ料理教室

12:00～13:30 ジャマイカン・パーティー

13:30～15:00 ジャマイカ文化体験・ものづくり

場 所：鳥取県立福祉人材研修センター

講 師：鳥取県立鳥取工業高等学校ALT アンドレ ブラフさん
鳥取市立西中学校ALT エンジェレス ジャームズさん
鳥取県立米子高等学校ALT ラニック トーマスさん

鳥取県自治体職員協力交流研修員 ジョディアン ムンローさん

参加者数：料理教室4名、ジャマイカンパーティー以降 約100名

エ 私費留学生奨学金の支給

① 私費外国人留学生奨学金制度

県内の大学・大学院・短期大学等に通学する私費留学生11名に月額2万円の奨学援助を行い、奨学生には「国際交流活動ボランティア」として、当財団や地域の国際交流活動への貢献を促している。

鳥取大学 3名（モンゴル、エチオピア、中国各1名）、鳥取短期大学 1名（ハンガリー）、公立鳥取環境大学 7名（中国6名、ベトナム1名）

② 環日本海交流地域私費外国人留学生奨学金制度

鳥取県の交流地域である韓国江原道、中国吉林省・河北省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県、ロシア・ハバロフスク地方出身者を対象に「環日本海交流地域私費外国人留学生奨学金制度」を設け、在県時には地域における国際交流活動への協力を通じて県民の国際理解促進に貢献し、将来、鳥取県と友好交流地域間の架け橋となり得る人材を育成。

・前期 鳥取大学3名（韓国江原道1名、中国吉林省2名）

公立鳥取環境大学1名（中国吉林省1名）

・後期 鳥取大学4名（韓国江原道3名、中国吉林省1名）

公立鳥取環境大学1名（中国吉林省1名）

オ 交流拠点の運営

全県的な国際交流の推進のため、各地域の拠点となる施設として財団本所（鳥取市：鳥取県国際交流センターとして県より管理運営を受託）、倉吉事務所（鳥取県中部総合事務所別館内）、米子事務所（米子コンベンションセンター内）を設置・運営。各拠点の情報提供機能を整備充実させるため、一般図書、日本語教材、視聴覚資料、海外新聞及び雑誌を購入し、来館者の閲覧や貸し出しに供したほか、毎月第二日曜日（14:00～16:00）に本所において、在留資格の変更等の手続きについて申請取次行政書士がボランティアで相談に応じる窓口を運営。

(2) 多文化共生推進

ア コミュニケーション支援

① 専門通訳ボランティアの派遣

医療通訳ボランティア（要請に応え医療・保健機関等に派遣）及びコミュニティ通訳ボランティア（保育園や学校、福祉分野、在留資格相談など言葉の支援の要請が多様化している現状でのより具体的な支援として、外国出身者がより円滑な社会生活を行うため、また公的機関等での適切な制度説明や手続きを促すために必要な言葉の支援）を専門通訳ボランティア派遣として一体的に運営することで、ワンストップサービスとして利用者目線で利便性が高まる工夫を行っている。登録者の技術の向上と活動意欲の維持のための研修プログラムは、イ人材の育成の専門通訳ボランティア育成事業において実施。

・医療通訳ボランティア登録者

H30.3月末現在 英語 30名、中国語 18名、タガログ語 2名、モンゴル語 1名、韓国語 1名 計 52名

・コミュニティ通訳ボランティア登録者

H30.3月末現在 英語 43名、中国語 25名、台湾語 2名、タガログ語 8名、ベトナム語 1名、韓国語 3名、モンゴル語 1名、スペイン語 1名、ポルトガル語 1名 計 85名（複数言語登録あり）

*平成29年度派遣実績 H30.3月末現在（ ）は昨年度派遣実績の数字

| | 種別 | 東 部 | 中 部 | 西 部 | 計 |
|-------|--------|---------------|-------------|------------|---------------|
| 英 語 | 医療 | (177) 124件 | (8) 26件 | (1) 4件 | (186) 154件 |
| | コミュニティ | (32) 35件 | (9) 6件 | (2) 3件 | (43) 44件 |
| 中 国 語 | 医療 | (40) 40件 | (29) 34件 | (2) 2件 | (71) 76件 |
| | コミュニティ | (6) 7件 | (1) 3件 | (1) 1件 | (8) 11件 |
| タガログ語 | 医療 | (0) 0件 | (3) 2件 | (1) 0件 | (4) 2件 |
| | コミュニティ | (6) 0件 | (2) 6件 | (0) 2件 | (8) 8件 |
| そ の 他 | 医療 | (0) 3件 | (0) 1件 | (1) 0件 | (0) 4件 |
| | コミュニティ | (1) 4件 | (0) 0件 | (0) 0件 | (1) 4件 |
| 計 | 医療 | (217) 167件 | (40) 63件 | (4) 6件 | (261) 236件 |
| | コミュニティ | (45) 46件 | (25) 15件 | (10) 6件 | (60) 67件 |

※「その他」はモンゴル語、韓国語、ベトナム語

② 国際交流コーディネーターの配置

外国出身者の日常生活における言語及び文化の違いによる障壁をできるだけ低くするべく、英語圏及び中国語圏出身の国際交流コーディネーターを配置し、面談や電話等により、さらに三者通話機能も活用して母国語で困りごと等の相談に応じるとともに、必要に応じて専門機関等への橋渡しを行った。また、県民の語学のブラッシュアップのためのチャットや海外事情に関する情報提供、ホームページやメールマガジン、機関紙といった情報ツールによる発信情報等の翻訳、国際理解を促す財団事業の企画、運営のほか学校や地域の要請に応じた国際理解講座の講師をつとめる。

<配置状況>

- 本所 英語対応 月曜日 13:30～18:00、木曜日 15:00～18:00、
金曜日 15:30～18:00
中国語対応 月・火・木・金曜日 9:00～17:00、水曜日 9:00～12:00
- 倉吉事務所 中国語対応 水曜日 13:00～17:00
- 米子事務所 中国語対応 火・木曜日 9:00～17:00

③ 日本語クラスの運営（拡充）

県内に在住するいろいろな立場・国籍の外国出身者が、日常生活に役立つ日本語を共に楽しく学べる場として、毎週水曜日または日曜日に専任講師とボランティアパートナーによるクラス形式の日本語教室を運営。クラスに参加しにくい人などには、希望の日程にマンツーマンでボランティアが対応するプライベートレッスンを実施。

<東部>

形式：ゼロ・基礎①・基礎②・初級（会話・生活漢字）・中級・子ども日本語コースの
6クラス

期間：第1期 平成29年4月2日～8月6日の毎週日曜日（全19回）
第2期 平成29年9月3日～12月17日の毎週日曜日（全16回）
第3期 平成30年1月7日～2月25日の毎週日曜日（全8回）
※第3期はゼロ・基礎①・子どもコースのみ

場所：財団本所（ゼロ・基礎①）

高齢者福祉センター・さざんか会館（基礎②・初級・中級・子ども日本語コース）

受講者数：第1期 188名、第2期 157名、第3期 25名

<中部>

形式：水曜日 基礎 日曜日 基礎、応用・漢字 の3クラス

期間：第1期 平成29年4月12日～7月26日の毎週水曜日（全15回）
平成29年4月9日～8月6日の毎週日曜日（全15回）
第2期 平成29年9月6日～11月29日の毎週水曜日（全13回）
平成29年9月3日～10月29日の毎週日曜日（全8回）

場所：水曜日 県中部総合事務所別館相談室

日曜日 県立倉吉体育文化会館

受講者数：第1期 56名、第2期 46名

<西部>

形式：ステップA（初級①）・ステップB（初級②）の2クラス

期間：第1期 平成29年4月16日～7月30日の毎週日曜日（全15回）
第2期 平成29年9月3日～平成29年12月24日（全14回）

場所：米子コンベンションセンター会議室ほか

受講者数：第1期 85名、第2期 92名

④ 防災・災害時支援事業の実施（拡充）

大規模災害時に災害弱者となりやすい外国出身者の不安を取り除くため、外国人が防災についての知識を得たり、実際に体験してみることで、いざというときに備える意識を醸成するため、日本語クラスなどを利用して防災学習を実施。また、新たにベトナム語訳を加えた防災ハンドブックと携帯カードを制作、配布。あわせて中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会における広域災害時を想定した連携と支援体制構築のためのシミュレーション研修を実施。

<防災学習>

東部 JETオリエンテーションにおける防災セミナー

日時：平成29年8月10日（木）

内容：地震が多い日本の現状と取り組み、防災用品の展示・説明

参加者数：25名

西部 (1)日本語クラスでの交通安全教室

日時：平成29年9月10日（日）11:00～11:45

内容：米子警察署より講師を招き、道路を歩行する場合の注意、自転車のルールとマナー、町で見かける標識、事故のときの対応について

参加者数：52名

(2)日本語クラスでの防災学習

日時：平成29年10月15日（日）10:30～11:45

内容：国土交通省中国地方整備局日野川河川事務所より講師を招き、大雨や台風による洪水被害の実際と対応例、情報の入手等について

参加者数：38名

<防災ハンドブック及び携帯カードの制作>

「やさしい日本語による防災ハンドブック」（第3版）500部

（財団ホームページ上に掲載し、モバイル端末で活用しやすい仕様とする）

「いざというときに携帯しましょう（災害時携帯カード）」1,000部

<中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会研修>（再掲）

平成29年度防災対策支援シミュレーション 平成29年11月9日（木）

イ 人材の育成

① 専門通訳ボランティア育成事業の実施（拡充）

言語及び医療の専門知識、対人援助能力など医療通訳ボランティア登録者としてのさらなる資質向上を目指したフォローアップ講座を開催。

また、登録者の自発的な活動を促進するため、勉強会や意見交換会の会場確保や講師の派遣費用を負担するなど側面的に支援。

<専門通訳フォローアップ講座>

東部会場

日時：平成30年1月20日（土）13:30～16:30

場所：鳥取県立中央病院1階「大会議室」

講師：鳥取県立中央病院救急科部長・救命救急センター長 岡田 稔医師

内容：岡田医師による「症状から推測する病気と外科的処置」と題した講演の
のち、院内施設の見学及びロールプレイ

受講者数：17名（英語10名、中国語6名、モンゴル語1名）

中・西部会場

日時：中部 平成30年2月17日（土）13:30～16:30

西部 平成30年2月18日（日）13:00～16:00

場所：中部 伯耆しあわせの郷「大研修室」

西部 米子コンベンションセンター「第7会議室」

講師：ひろしま通訳・ガイド協会理事 畝崎 雅子氏

内容：通訳倫理の復習、一人でもできる通訳スキルアップの方法について、言語別トレーニングの実践

受講者数：中部 25名（英語20名、中国語4名、タガログ語1名）

西部 14名（英語12名、中国語1名、スペイン語1名）

<自発的活動促進支援>

東部地区（英語）

| | 日時・場所 | 内容・トピック | 参加者数 |
|----|---|---|------|
| 1 | 平成29年4月21日（金） 鳥取空港国際会館2階特別待合室 13:15～15:00 | 麻酔に関する薬とMRI指示シナリオ 英文の修正 講師 Goodine Gerald Ronald氏 | 5名 |
| 2 | 平成29年5月15日（金） 鳥取空港国際会館2階特別待合室 13:15～15:00 | クイックレスポンス、症状を聞く、CD リスニング 講師 Shery Megaly氏 | 11名 |
| 3 | 平成29年6月19日（金） 鳥取空港国際会館2階特別待合室 13:15～15:00 | カルシウムについて、医師と患者の会 話、CDリスニングと書き取り 講師 Shery Megaly氏 | 10名 |
| 4 | 平成29年7月31日（金） 鳥取空港国際会館2階特別待合室 13:15～15:00 | 溶連菌感染症について、単語リスト、 ビデオを見て通訳練習 講師 Shery Megaly氏 | 9名 |
| 5 | 平成29年9月4日（金） 鳥取市国際交流プラザ研修室 13:30～15:00 | クイックレスポンス、検査成績の通訳 練習 講師 Shery Megaly氏 | 6名 |
| 6 | 平成29年10月13日（金） 鳥取空港国際会館2階特別待合室 | 寄生虫ウィルス、ジビエ料理に注意 講師 Shery Megaly氏 | 8名 |
| 7 | 平成29年11月10日（金） 鳥取空港国際会館2階特別待合室 | 受動喫煙、職場の喫煙室との戦い 講師 Shery Megaly氏 | 7名 |
| 8 | 平成30年1月12日（金） 鳥取空港国際会館2階特別待合室 | 外来診療のための英会話、歯・口の健 康診断結果、骨折について 講師 Shery Megaly氏 | 10名 |
| 9 | 平成30年2月9日（金） 鳥取空港国際会館2階特別待合室 | 時事ニュース、クイックレスポンス、 ラギング 講師 Shery Megaly氏 | 9名 |
| 10 | 平成30年3月9日（金） 鳥取空港国際会館2階特別待合室 | 糖尿病とその薬について 講師 Shery Megaly氏 | 5名 |

中部地区（英語）

| | 日時・場所 | 内 容 | 参加者数 |
|---|--|-------------------------|------|
| 1 | 平成29年6月16日（金） 県中部総合事務所別館相談室2 13:30～15:00 | カリウムの摂取について、問診票につ いて | 3名 |
| 2 | 平成29年8月18日（金） 県中部総合事務所別館相談室2 13:30～15:00 | 溶連菌感染症について | 3名 |

② 日本語講師・ボランティア養成講座の実施

地域の日本語教育の中核となる人材及び日本語教育ボランティアのスキルアップを目的とする研修会を開催。

<東部会場>

日 時：平成29年8月27日（日）13:30～16:30

場 所：とりぎん文化会館 第5・6会議室

内 容：日本語教材「まるごと 日本のことばと文化」の執筆陣の一人である講師
を迎え、外国人学習者が楽しくコミュニケーションしながら生きた日本
語を学べるアイデアや工夫について

講 師：柴原 智代氏（国際交流基金日本語国際センター専任講師）

受講者数：24名

<中部会場>

日 時：平成29年8月26日（土）13:30～16:30

場 所：伯耆しあわせの郷 小研修室

内容・講師は東部会場に同じ

受講者数：19名

| | |
|--|---|
| | <p><西部会場></p> <p>日 時：平成29年8月6日（日）13:00～16:00</p> <p>場 所：米子コンベンションセンター 第4会議室</p> <p>内 容：「ボランティア教室での活動を考えよう」</p> <p>日本語クラスで活動するボランティアパートナーの充実、人材育成を視野に、地域の日本語教室の役割をはじめ、“おしゃべり”から学習へつなげる支援方法、教材の使い方について</p> <p>講 師：岩田 和美氏（島根県 JICA デスク国際協力推進員）</p> <p>受講者数：16名</p> |
|--|---|

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--------------------------------------|-----------|--------------------|-----|-------------------|-------------------|-----|--------------|------------------|------|---------------------------------------|------|------|-------------|------------|------|----------------------|--------------------------------------|--|
| 2 海外移住・海外技術協力支援事業 | (1) 県費留学生・研修員等の受入 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <p>鳥取県と関係の深い国々の将来を担う青年を「県費留学生」または「海外技術研修員」として招へいし、必要な技術を習得、研究することで母国の発展に大きく寄与する人材となるよう養成し、併せて県民との友好親善の担い手となることを目的に、県から委託を受けて受入にかかる研修機関との連絡調整や生活支援等の業務を行った。</p> <p><鳥取県・江原道職員相互派遣研修生受入事業></p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>氏 名</td> <td colspan="2">韓 芝影（ハン・ジヨン）</td> </tr> <tr> <td>国 籍</td> <td colspan="2">韓国（江原道）</td> </tr> <tr> <td>区 分</td> <td colspan="2">鳥取県・江原道職員相互派遣研修生</td> </tr> <tr> <td>研修期間</td> <td colspan="2">1年</td> </tr> <tr> <td>研修内容</td> <td colspan="2">獣医・畜産・流通分野</td> </tr> <tr> <td>研修機関</td> <td colspan="2">県畜産課ほか</td> </tr> </table> | | 氏 名 | 韓 芝影（ハン・ジヨン） | | 国 籍 | 韓国（江原道） | | 区 分 | 鳥取県・江原道職員相互派遣研修生 | | 研修期間 | 1年 | | 研修内容 | 獣医・畜産・流通分野 | | 研修機関 | 県畜産課ほか | |
| | 氏 名 | 韓 芝影（ハン・ジヨン） | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 国 籍 | 韓国（江原道） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 区 分 | 鳥取県・江原道職員相互派遣研修生 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修期間 | 1年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修内容 | 獣医・畜産・流通分野 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修機関 | 県畜産課ほか | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p><自治体職員協力交流事業></p> <table border="1"> <tr> <td>氏 名</td> <td>李 鑫（リ シン）</td> <td>ジョディアン シャウナケー ムンロー</td> </tr> <tr> <td>国 籍</td> <td>中国（吉林省）</td> <td>ジャマイカ（ウエストモアランド県）</td> </tr> <tr> <td>区 分</td> <td>自治体職員協力交流研修員</td> <td>自治体職員協力交流研修員</td> </tr> <tr> <td>研修期間</td> <td>10ヶ月</td> <td>10ヶ月</td> </tr> <tr> <td>研修内容</td> <td>商工行政・国際行政</td> <td>経営管理学</td> </tr> <tr> <td>研修機関</td> <td>県商工労働部・観光交流局、鳥取市、境港市</td> <td>鳥取大学地域学部、鳥取短期大学文化交流学科、県スポーツ課・業務効率推進課</td> </tr> </table> | | 氏 名 | 李 鑫（リ シン） | ジョディアン シャウナケー ムンロー | 国 籍 | 中国（吉林省） | ジャマイカ（ウエストモアランド県） | 区 分 | 自治体職員協力交流研修員 | 自治体職員協力交流研修員 | 研修期間 | 10ヶ月 | 10ヶ月 | 研修内容 | 商工行政・国際行政 | 経営管理学 | 研修機関 | 県商工労働部・観光交流局、鳥取市、境港市 | 鳥取大学地域学部、鳥取短期大学文化交流学科、県スポーツ課・業務効率推進課 | |
| 氏 名 | 李 鑫（リ シン） | ジョディアン シャウナケー ムンロー | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 国 籍 | 中国（吉林省） | ジャマイカ（ウエストモアランド県） | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 区 分 | 自治体職員協力交流研修員 | 自治体職員協力交流研修員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修期間 | 10ヶ月 | 10ヶ月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修内容 | 商工行政・国際行政 | 経営管理学 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修機関 | 県商工労働部・観光交流局、鳥取市、境港市 | 鳥取大学地域学部、鳥取短期大学文化交流学科、県スポーツ課・業務効率推進課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>氏 名</td> <td colspan="2">キャンベル タマラ</td> </tr> <tr> <td>国 籍</td> <td colspan="2">ジャマイカ（ウエストモアランド県）</td> </tr> <tr> <td>区 分</td> <td colspan="2">自治体職員協力交流研修員</td> </tr> <tr> <td>研修期間</td> <td colspan="2">2ヶ月（H28年度研修員） 28年度より継続H29.4.1～5.12</td> </tr> <tr> <td>研修内容</td> <td colspan="2">国際行政、都市計画行政</td> </tr> <tr> <td>研修機関</td> <td colspan="2">県観光交流局、鳥取大学工学部</td> </tr> </table> | | 氏 名 | キャンベル タマラ | | 国 籍 | ジャマイカ（ウエストモアランド県） | | 区 分 | 自治体職員協力交流研修員 | | 研修期間 | 2ヶ月（H28年度研修員） 28年度より継続H29.4.1～5.12 | | 研修内容 | 国際行政、都市計画行政 | | 研修機関 | 県観光交流局、鳥取大学工学部 | | |
| 氏 名 | キャンベル タマラ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 国 籍 | ジャマイカ（ウエストモアランド県） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 区 分 | 自治体職員協力交流研修員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修期間 | 2ヶ月（H28年度研修員） 28年度より継続H29.4.1～5.12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修内容 | 国際行政、都市計画行政 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修機関 | 県観光交流局、鳥取大学工学部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

<ブラジル交流促進事業>

| | |
|------|-----------------------------|
| 氏 名 | クリスチアーネ エリエ ニシザカ |
| 国 籍 | ブラジル |
| 区 分 | 県費留学生 |
| 研修期間 | 1年 |
| 研修内容 | ソフトウェアの統計的品質管理法と信頼性評価に関する研究 |
| 研修機関 | 鳥取大学大学院工学研究科 株式会社バードワークス |

3 山陰・夢みなと博覧会
記念基金活用事業

(1) 山陰・夢みなと博覧会記念基金による助成

県民参加型の地域の国際化に資する民間団体主催事業を支援するため、すべての海外渡航費の3分の1（ただし米子ソウル便、米子香港便及び環日本海定期貨客船航路を利用する場合は3分の2）に他の助成対象経費の2分の1を加えた額、及びパスポート取得支援として1人あたり5千円を助成した。また、県内の小・中・高等学校等が実施する海外教育旅行に対しても、一人あたり5,500円（ただし米子ソウル便、米子香港便及び環日本海定期貨客船航路を利用する場合は1万円上乗せ）の助成を行った。

民間国際交流・協力事業助成 27事業（16,021,000円）
海外教育旅行助成 9事業（3,847,000円）

4 法人管理
会議等開催状況

評議員会

(1) 第19回評議員会

平成29年5月31日(水) 14:00~15:35 とりぎん文化会館第4会議室

議決事項

第1号議案「議事録署名人の選出について」

第2号議案「平成28年度決算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録の承認について」

第3号議案「理事及び監事の選任について」

第4号議案「評議員の選任について」

報告事項

- ・平成28年度事業報告及びその附属明細書について
- ・平成29年度事業計画の変更及び収支予算の補正について
- ・個人情報保護に関する基本方針及び個人情報管理規程の制定について

(2) 第20回評議員会(決議の省略による)

平成29年8月3日

議決事項

第1号議案「評議員の選任について(門脇 誠司氏)」

第2号議案「理事の選任について(野川 聡氏、矢田 克明氏)」

(3) 第21回評議員会

平成29年8月31日(木) 13:00~14:10 鳥取県庁第二庁舎第21会議室

第1号議案「議事録署名人の選出について」

報告事項

- ・主たる事務所の所在地の移転について

(4) 第22回評議員会(決議の省略による)

平成29年12月15日

第1号議案「評議員の選任について(原 利一郎氏)」

(5) 第23回評議員会(報告の省略による)

平成30年3月29日

報告事項 平成30年度事業計画及び収支予算等について

理事会

(1) 第36回理事会

平成29年5月16日(火) 15:00~16:05 鳥取県庁第二庁舎第21会議室

議決事項

第1号議案「平成28年度事業報告及びその附属明細書、計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について」

第2号議案「平成29年度事業計画の変更及び収支予算の補正について」

第3号議案「定時評議員会の招集について」

第4号議案「個人情報の保護に関する基本方針及び公益財団法人鳥取県国際交流財団個人情報管理規程の制定について」

(2) 第37回理事会(決議の省略による)

平成29年5月31日

議決事項

第1号議案「理事長及び副理事長(代表理事)、並びに常務理事(業務執行理事)の選

定について」

- (3) 第38回理事会（決議の省略による）

平成29年7月20日

議決事項

第1号議案「決議の省略による評議員会招集について」

- (4) 第39回理事会

平成29年8月22日（火）11:00～12:10 鳥取県庁第二庁舎第21会議室

議決事項

第1号議案「副理事長の選定について」

第2号議案「主たる事務所の所在地の移転について」

第3号議案「臨時評議員会の招集について」

- (5) 第40回理事会

平成29年11月29日（水）15:30～16:50 鳥取県庁第二庁舎第21会議室

第1号議案「平成29年度事業計画の変更及び収支予算の補正について」

第2号議案「臨時評議員会の招集について」

報告事項

・平成29年度職務執行の状況について

その他

・主たる事務所の移転に伴う平成30年度予算要求の状況について

- (6) 第41回理事会

平成30年3月14日（水）13:00～14:30 鳥取県庁第二庁舎第21会議室

議決事項

第1号議案「平成30年度事業計画及び収支予算等について」

第2号議案「臨時評議員会の招集について」

第3号議案「公益財団法人鳥取県国際交流財団就業規程の変更について」

第4号議案「公益財団法人鳥取県国際交流財団育児・介護休業等に関する規程の変更
について」

第5号議案「公益財団法人鳥取県国際交流財団事務決裁規程の変更について」

第6号議案「公益財団法人鳥取県国際交流財団環日本海交流地域私費外国人留学生奨学
金支給要綱の変更について」

- (7) 第42回理事会（決議の省略による）

平成30年3月31日

議決事項

第1号議案「事務局長の解任及び選任について」